



緑西LETTER

vol.10

緑西直言



～母校を支えるのは私たち～

会長 大江 与喜子

(上ヶ原病院理事長・緑樹会副会長・S53卒)

兵庫医科大学が創立50周年を迎えるにあたり、兵庫医療大学3学部と一体化、新生兵庫医科大学がスタートします。母校の拡大発展を心から祝い期待を寄せる一人です。

18歳で一期生として入学し、切っても切れない兵庫医大と関わって50年。良くも悪くも兵医の話題には我が事のように一喜一憂です。兵庫医大の歴史をカラーを作ってきたという自負は学生時代からのもの、教室はなかなか整備されずとも実習に使う試験管から顕微鏡まで全て新品。当初は恐る恐る兵医卒を名乗っていても、自分に自信が出てくると同時に兵医卒と胸を張って、そして今は兵医卒と言われたら心よりの親密と愛情を覚えます。これこそ同窓の繋がりなのでしょう。これまで関わり合ったことのない人でもどこかに共通の話題が見つかります。特に私たち緑樹会西宮支部は兵庫医大のお膝元。何か困ったら兵庫医大に知恵を、技術を、設備をお借りすることができます。もう今は私の同世代はみな(兵医では)現役ではないけれど、それぞれに育った後輩たちが、また他大学の知識や技術も融合させながら新しい医学、医療を展開してくれています。こんな身近な兵医の力を利用しないではられません。

また私たち西宮市で開業医、勤務医として日々過ごしているものは兵庫医大から頼りにされたいとも思っています。兵庫医大で治療された患者さん、かかりつけ医が兵庫医大しかないという方も、兵庫医大はいざという時に軽く行ける場所ではないという認識の中、アクセスの便利な西宮市内の緑西会の存在を思い出していただきたい。兵庫医大の大事な患者さんが兵庫医大での診療を卒業して身近な開業医にかかっていたときに安心して緑西会メンバーの医療機関を選んでいただけるよう、私たちも知識と技術を常に磨いておかねばなりません。

これからは、4学部を持つ兵庫医科大学となり、同窓生の輪がもっとも広がっていきます。医師だけでなく、看護師、薬剤師、療法士、と医療の中心的役割を果たすべき医療人が同じ兵庫医大として繋がり、これから地域にも広がっていくことと期待しています。医師だけでは何もできない、他職種の助けがあってこそその医療の中で、ここまで大学と共に50年の歴史を作ってきたと自負する私たち医学部の同窓生こそが、率先して兵庫医大を盛り立て、これからの歴史をさらに膨らますためにも兵庫医大の最強の地元で母校を支えることができると思います。

最新、先端医療は兵医に任せる、だからしっかりやってくださいね。そしてその知識を還元してください。兵庫医大が転けても、転かさないように卒業生は努力します(悪い煙は消す)。私たちが小さく転けても兵庫医大が助けてくれると思っています。お互いの信頼がなければ成り立っていかない病診、病病、そしてこれからは多職種連携にも兵医網あります。

緑西会は次の50年を見据えて、直接兵庫医大に物申す、兵庫医大にとってはちょっとうるさい存在でありたいと思います。兵庫医大の中で起こっていること、仕掛けていることをどんどん発信していただき、私たちもそれに乗って動かされ、動いていければお互いの向上につながる。次の50年に向けて、地元から愛され頼りにされる新生兵庫医大を地元から支えたいと思います。

50周年を契機に、私大江与喜子は学校法人兵庫医科大学の理事の末席に加えていただくことになりました。同窓生として最も兵医を愛する立場としてお役に立てればと思います。

関西人は世界一お酒に弱い？



ひだ胃腸内視鏡クリニック

樋田 信幸 (H7卒)

仕事後にビールをグイッと一杯…たまりませんよね。コロナ禍ですと外での飲み会は激減しましたが、クリニックを開業してからというもの「当直」という名の強制的な「休肝日」がなくなったこともあり、自宅で飲む機会は激増してしまいました。困ったことに飲まない理由がない…（いや、自分次第なんですけど）。

お酒に含まれるアルコールは、肝臓でアルコール脱水素酵素によって分解され、アセトアルデヒドになります。アセトアルデヒドは人にとって「毒」です。酔っ払って気持ち悪くなったり、二日酔いになったりするだけでなく、遺伝子が傷つき咽頭、喉頭、食道、大腸、肝臓といった消化器を中心としたがんの発生にも繋がります。アセトアルデヒドは、さらに肝臓でアルデヒド脱水素酵素（ALDH 2）によって無害な酢酸（お酢）になり、最終的に二酸化炭素と水に分解されて、酔いから醒めます。

みなさまの周りにも、お酒が一滴も飲めない「下戸」の人や、飲むと顔が赤くなる「フラッシャー」と呼ばれるお酒に弱い体質の方がいらっしゃると思います。この体質は、ALDH 2の活性を決める遺伝子の多型によって、生まれつき決まっています。日本人の約40%が酵素活性が弱い「フラッシャー」で、約4パーセントが活性がまったくない「下戸」と言われています。つまり日本人の約半数はお酒に弱いのです。ちなみにわたしは残りの56%、つまり、活性が強い「のんべえ」タイプです。もちろん、のんべえタイプでも調子に乗って飲み過ぎると、アセトアルデヒドを分解しきれずに頭痛や吐き気に襲われ、激しく後悔することになります。まあ、後悔は一瞬で、困ったことに結局また飲んじゃうんですけ

ど…。

さて、では、欧米人でお酒に弱い体質の人ってどれぐらいいるのでしょうか？…答えは、ゼロです！コーカソイド（白人）やネグロイド（黒人）は、ほぼ100%が活性型のALDH 2を持っており、お酒に弱い体質の人はいません。実は、モンゴロイド（黄色人種）だけが、突然変異でALDH 2の活性を無くしてしまったのです。そして変異の起源とされる中国を中心とした東アジアの中で、最も変異の頻度が高いのが日本人です。意外に知られていませんが、実は日本人は世界一お酒に弱い人種なのです。

そして面白いことに、国内でもお酒に強い・弱いにははっきりとした地域差があります。北海道、東北、九州、沖縄地方にはのんべえタイプの遺伝子の方が多く、中部・近畿地方に飲めないタイプの遺伝子の方が多いのです。どうりで、東北や九州に講演に行くと、めちゃくちゃ飲まされるわけだ…（いや、自ら飲んでるだけか？）。

日本人のルーツは、大陸と陸続きだったころに日本列島に渡った縄文人と、その後中国や朝鮮半島から渡来して本州に広がった弥生人に分かれます。縄文系の多くは酒が飲めるタイプ、弥生系は突然変異によって酒に弱くなったタイプが多く、どうもこの分布と関係があるようです。ちなみに、のんべえ遺伝子を持つ国内最強（最恐？）の県は秋田県で、2位は鹿児島県。逆に、飲めない人が多い最弱の県は三重県で、2番目に弱いのは愛知県です。わが関西は…大阪41位、兵庫29位、京都36位、奈良40位、滋賀35位とのきなみ弱く、世界最弱の日本の中でも東海地方に次いで2番目に弱い地域なのです。

ですから、関西人はお酒が関係するがんの発生に、世界一注意するべきです。とくに顔が赤くなるのにお酒が大好きな先生方！胃腸のがん検診をご要望の際には、お気軽にお声がけください。

“緑樹の街・兵庫医大タウン”-次の50年へ-



ほしな眼科クリニック
緑樹会常任理事

保科 幸次 (H3卒)

親愛なる緑西会の皆さま、いつもお世話になって
おります！

先生方は母校の卒業記念植樹は御存知でしょう
か？かつては5号館南の芝生広場に幾つか植えられ
た風景が記憶に残る方もおられると思います。

第二グラウンド地に平成記念会館が竣工、数年前
の教育研究棟完成に併せ、これまでの植樹群が全て
同館周囲（阪神電車を挟んで北側エリア）に、2014
年に移設されています。（写真①）



写真① 平成記念会館側道沿いの植樹群

さらに調査をすすめますと11期生（S63卒）より
植樹が開始され、現在に至っている、そのうち11
～15期生（H4卒）ま
での学年分が、移設
時に物理的な植え替
えができなかったた
め、親株と全く同じ
DNAを持たせる「接
ぎ木」で対応したこ
と、がわかりました。
（写真②）



写真②

平成3年卒業・第14期生の接ぎ木

その後、接ぎ木は順調に育ち、今年の春には花が
咲き始めるとのことです。

学生陣で構成される「謝恩会実行委員会」が運営
の主体となる“卒業記念事業”であり、20期生（H9
卒）の学年では相談の結果、柱時計に変更された、
といった経緯もあります。

まあ、思い出してみると我々には“卒業”という
感傷に浸る余裕はあまりなく（苦笑），“卒業”を果
たし、続いて国家試験、無事クリアの次は怒涛の研
修医生活”、という最も激しいパラダイムシフトを
過ごす時期に実施される植樹へ思いを込めるのは容
易ではありません。とは言え、植樹初期の面々も、
やや余裕なシニア期を迎え（すいません、失礼しま
した）、ココロを寄せていければ、と考えます。

（写真③）



写真③ 小松グラウンド内の植樹群

兵医の新病院が完成し、その後数年で1号館が取
り壊され、跡地は緑地公園化の構想があります。そ
の頃には、阪神電車北側エリアの植樹群が生い茂り、
南側も、緑の多い風景となる、「緑樹の街、兵医タ
ウン」に思いをはせる今日この頃です。（歳とった
なあ。）

谷口 医院

谷口 賢蔵
(S54卒・柔道部補欠)



人呼んで、ミスター “we love H.M.U.”
親子二代・兵庫医大卒！

今津真砂町1-6 **Tel:45-5075**



藤川クリニック

内科・循環器内科



藤川 洋子
(H4卒・空手部)

趣味♡観劇 (市医師会宝塚愛好会)
副業♡舞台 (劇団音芽)
頑張っています!!

甲子園口3-4-24 **Tel:67-0203**

消化器内科・外科・肛門外科・在宅訪問診療

おぐしクリニック

小串伊知郎
(H2卒・剣道部)



二代目院長・西宮 “道一筋40年”

上大市5丁目12-15 **Tel:57-5531**

泌尿器小手術・在宅医療



医療法人社団 優会

よしおかクリニック
泌尿器科

吉岡 優
(昭和63年卒/硬式テニス部)
段上町1-2-34 tel 57-5535



なかおクリニック
泌尿器科

中尾 篤
(平成9年卒/軟式テニス部)
相生町6-37 tel 74-5515



段上町 1-2-34 **TEL 57-5535**

何でも気軽に相談できるクリニック

消化器科・内科・外科・肛門科

平川クリニック



平川 一秀
(平成2年卒・アメリカンフットボール部)

緑西きっての愛妻家

愛車・速い車、趣味・ゴルフ



大屋町12-20 **TEL: 66-8080**

兵医新入生のみなさん 入学おめでとう！



ほしな眼科クリニック

保科 幸次 (平成3年卒/ラグビー部)



We love
H.M.U!

門前町3-2 **TEL:65-0095**

URL <http://hoshina-eye-clinic.com/>

編集後記

今春、兵庫医大はポートアイランドの兵庫医療大と発展的統合を行い新生兵庫医科大学として次の50年に向かいます。CollegeからUniversityへ。緑西レターも晴れて10号を迎え、大学法人理事に就任される大江会長から、しなやかで力強いメッセージが発信されました。宝塚歌劇ステージ最前列席、甲子園ライトスタンド、大相撲の砂かぶり席、と同様、緑西会は熱のある応援団として地元

から兵医を見つめています。

本誌は会員の皆様、兵医の入学式で新入生に、更に大学内へと配布、加えて、緑樹会サイトからも閲覧が可能となっております。

創刊から毎号、有志会員による広告協賛で継続ができています。そうです！やれば、出来るのです。(笑) そろそろのコロナ収束を願い、皆様、今年も健康第一で！！ 広報部 (保科・濱岡)

兵庫医科大学同窓会緑樹会西宮支部

緑西会会員数 150名

(R4.3.1現在)

緑西LETTER

発行日/令和4年4月1日 発行人/大江与喜子

代表世話人/吉岡 優

印刷所/株式会社小西印刷所